

デルタ株の可能性高い変異株初検出～感染防止のさらなる徹底を！

市民の皆さま、事業者の皆さまには、感染拡大防止にご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。とりわけ、医療の最前線で献身的に奮闘されている医療・保健関係者の皆さまに、心から感謝と敬意を表します。

本日、本市や郡山市など県内において、デルタ株の可能性が高い「L452R」変異株4件が確認されました。

デルタ株は最初にインドで判明した変異株で、まだ十分解明されてはいませんが、県内で主流になっている感染力の強いアルファ株と同等以上の感染力を有することは確実であると言われています。

一旦落ち着いていたイギリスでの感染再拡大や、緊急事態宣言発令後も加速している東京都の再拡大も、デルタ株に置き換わってきていることが大きな要因になっています。

福島市では、6月末から7月初旬に確認された夜の飲食店でのクラスターの連鎖を、辛うじて食い止めているところですが、アルファ株に加え、デルタ株が拡大してくれば、いつクラスターの連鎖が起きてもおかしくありません。

市民の皆さまには、1、2段引き上げた感染防止への意識をさらに引き上げて、3密の回避、会話時のマスク着用、手指の消毒など感染防止対策を徹底していただきますようお願いいたします。

来週には東京2020大会が始まり、続いて夏休み、お盆シーズンと、人が集まって飲食を共にする機会が増えてまいります。そのような場での感染拡大は、これまで多々確認されておりますので、そのような場はできる限り避けるなど、十分ご注意ください。

また、東京都など感染拡大地域との不要不急の往来は原則、中止または延期するとともに、県境を越える帰省も極力控えるようお願いいたします。さらに、感染拡大地域からの来訪者との接触による感染も多く確認されていますので、気を緩めないようお願いいたします。

ワクチン供給の減によりワクチン接種の減速を余儀なくされていますが、その中でも、効果が高い進め方で、早期接種に努め、11月末の完了を目指してまいります。それまでの間、力を合わせて、感染防止対策を徹底してまいりましょう。

令和3年7月15日

福島市長 木幡 浩